

2016 年 1 月 15 日
環境社会配慮助言委員会委員長 村山 武彦
担当ワーキンググループ主査 高橋 進

パキスタン国 カラチ市内国道 5 号線改善計画
(協力準備調査(無償))
ドラフトファイナルレポートに対する助言

助言案検討の経緯

ワーキンググループ会合

- ・日時：2015 年 12 月 21 日(月) 14:00～17:05
- ・場所：JICA 本部 (会議室：1 階 111 会議室)
- ・ワーキンググループ委員：作本委員、清水谷委員、高橋委員、原嶋委員、米田委員
- ・議題：パキスタン国カラチ市内国道 5 号線改善計画準備調査に係るドラフトファイナルレポートについての助言案作成
- ・配付資料：
 - 1) 協力準備調査スコーピング案への助言対応表
 - 2) ドラフトファイナルレポート
 - 3) Environmental Impact Assessment Report
 - 4) Abbreviated Resettlement Action Plan
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン(2010 年 4 月)

全体会合(第 65 回委員会)

- ・日時：2016 年 1 月 15 日(金) 14:33～17:36
- ・場所：JICA 市ヶ谷ビル(会議室：201AB)

上記の会合にて助言を確定した。

助言

スコーピング・マトリックス

1. 調査 TOR の 10. Ecosystem のインタビュー対象者に「専門家（研究者、NGO など）」を加え、その調査結果を FR に記述すること。

環境配慮

2. 振動等に適用可能な国内基準がない場合には、先進国の基準等の採用を示唆することを FR に記述すること。
3. 対象道路周辺において、大気質、水質、騒音については、現状がパ国の基準値を超過している。また、振動についても、日本の基準を採用すると、現状が基準値を超過しているといえる。このため、本事業を実施しない場合に比べて、これらの環境条件をより悪化させないための具体的な対応方法を FR に記述すること。さらに、中長期的な視点を含めて、全体として基準値を達成するための方法や対策等の提案を FR に記述すること。
4. 対象道路周辺には、4 つの学校及び 1 つの病院があることが確認されている。
 - ・騒音・振動による影響を予測し、必要に応じこれらの施設ごとに対応策を検討し、その内容を FR に記述すること。
 - ・さらにこれらの施設に対するモニタリング計画を提案し、その内容を FR に記述すること。
5. 事業区間における唯一の住宅地である「Green Park City」付近の騒音に関して、騒音基準をできる限り満たすように、具体的な対策を検討し、その内容を FR に記述すること。
6. 工事に伴う廃棄物が適切に輸送ないし処理されるよう FR に記述すること。
7. パ国における国家環境質基準(NEQS)の法的拘束力の有無について確認して、その結果を FR に記述すること。

社会配慮

8. 非自発的住民移転に際しては、合法・非合法を問わず、JICA ガイドラインと乖離なく住民移転が実施されること、さらに、屋台等の移動については、既存の営業や生計に悪影響が生じないための配慮を行うことを、FR に記述すること。
9. 試掘調査により、道路用地内に電気とガスのみでなく、その他のユーティリティの存在も確認している。このため、道路の拡幅及び排水溝の設置によってこれらのユーティリティに影響を及ぼさないよう必要な対策を FR に記述すること。

ステークホルダー協議・情報公開

10. ステークホルダー協議において、ジェンダーへの配慮を十分に行い、その配慮方法と内容を FR に記述すること。

その他

11. JICA が支援する無償案件の供用後におけるモニタリング期間は通例 3 年間であることを FR に記述し、3 年間のモニタリング実施について KMC と協議すること。

以上